

小学校への出前授業を開催

J&T環境株式会社（社長：露口哲男、本社：神奈川県横浜市）は、9月8日、那覇市立城西小学校4年生約120名を対象に「ごみ問題と資源ごみのリサイクル～家庭から出たペットボトルのゆくえ～」と題する出前授業を行いました。

今回の出前授業は、弊社社員の家族の通学先である城西小学校の先生より、「授業の中で環境について子供たちに話をしてほしい」との要望を受け実現したものです。

当日の授業は、弊社営業本部沖縄地区担当部門と川崎本社のスタッフが受け持ち、屋外に放置されたごみのゆくえ、沖縄県が実施しているペットボトルのリサイクル行程についてクイズを取り入れながら授業をし、リサイクルの必要性への理解を深めて頂くことができました。

沖縄県のリサイクル率は、全国平均値を下回っておりますため、分別収集の推進など弊社の強みが再生利用量を高める一助になればと考えております。

本取り組みは、J&T環境が進めるESG^{※1}における環境保全・社会共生活動の一環であります。当社は引き続きESGの取り組みを推進し、社会に貢献してまいります。

※1 E=Environment（環境）、S=Society（社会）、
G=Governanceの略称。企業が長期的に成長するための要件

